≪2014 年春期・GW≫　計 14 名分

【JCHO 東京新宿メディカルセンター・旧東京厚生年金病院】

まず驚いたのは、先生が数多くいる患者さんの既往歴をほぼ完璧に覚えているということでした。やはり患者さんの既往歴は、今後のリハを考えるうえでも、重要なのだろうと思いました。またリハでは臓器の損傷、ヒトとしての機能、人間の社会生活の 3 つを同時に考えなければならず、そのためには患者さんの疾病だけでなく、患者さんの家族構成であったり、家の内部構造であったりを知ったうえで、その患者さんにあったリハを考えなければならないと実感しました。

また、電子カルテにも感動しました。病棟間を移動する際に、いちいちカルテを持ち運ばなくてもいいうえ、字も読みやすくてミスも減るのではと思いました。

総合診療についてのシンポジウムを聞いて、医師不足や、高齢化などによる疾病の多様化に対応するには、総合診療医の存在が重要であると感じました。

最後になりますが、室生先生ならびにリハ科の職員のみなさん、2 日間見学させていただき、ありがとうございました。

【JA 長野厚生連　佐久総合病院】

リハというと、リハ室で理学療法士や作業療法士がやるものというイメージが強く、医師がどのように関わっているのか全く想像がつかない状態で実習に挑みました。

実習初日は、夜勤の看護師からリハ科医への申し送りから始まりました。患者さん一人ひとりについて、時に笑いを交えながらも細部までしっかりと共有されてる印象で、率直に雰囲気がいい職場だなと感じました。以前、私が別の病院で見させていただいた申し送りは、印刷した文章を読むだけで心がこもってないと思ってしまうようなものだったので、その違いに驚きました。その後、回復期リハ病棟での回診や指導医の先生にリハについてお話を聞かせていただき、リハ科医は患者さん一人ひとりの障害、環境、希望、家庭を考慮した上で目標を立て、その目標達成に必要なことを共に実践するプロであると感じました。私自身、目標や生きがいが持てる暮らしができるように支えたいという思いをもともと持っていたこともあり、リハ科医の仕事にとてもやりがいを感じた初日になりました。

実習２日目には嚥下造影を見学させていただきました。その時に印象的だっ

たのは、スタッフのみなさんの嚥下造影検査の捉え方です。嚥下造影は、患者さんが食べられるのか食べちゃいけないのか、つまり制限の有無を判断するためのものではなく、あくまでも食べられる条件を探すためのものである、という捉え方です。患者さんの食べたい、という思いに応えようとするスタッフの姿勢に感動しました。

実習３日目は、午前は訪問リハ、午後は訪問診療に同行させていただきました。午前と午後合わせて７件のお宅を訪問させていただきましたが、どのご家族もとても熱心で、スタッフの方との関係がよいことが印象的でした。正直に申しますと、週に１回の訪問リハがどれくらい功を奏するのが疑問だったのですが、利用者の方やご家族から「リハをした日は見違えるほど動きがよくなる」という話を伺ったり、実際に患者さんの顔色がとてもよくなる様子をこの目で見たことで、訪問リハの重要性を知ることができました。ほぼ何も知らない状態で踏み入れたリハ科でしたが、3 日間の実習を終えてみると、リハ科医という道が将来の生き方として割と大きな選択肢の一つになっていました。

最後に、この春期医学実習を通し、真剣に悩み、腹の底から笑い合えるよき仲間と出会うことができました。実習での経験はもちろんのことですが、ここで出会った仲間は大切な財産です。佐久総合病院という場で出会ったすべてのものを糧とし、今年のポリクリに臨みたいと思います。本当にありがとうございました。また実習に行かせてください。

【藤田保健衛生大学病院，七栗サナトリウム】

医学生

- 病院でのレベルまでしかリハのイメージをもてていなかったが，在宅でのリハを実際に見てイメージがふくらんだ．ファシリテーションは実際に体験して非常におもしろかったので，もう少し色々な種類を体験してみたかった．参加日の関係でリハロボットが見られなかったのが少し残念だった．
- 予想よりリハ科が面白く，将来性のある部門であり，感銘を受けました．様々な創意工夫を学ぶことができ，とても勉強になった．
- ポリクリで見られなかったリハ科医の仕事が見られてよい経験となった．家庭訪問は普段見られないところなので，貴重な体験だった．
- どっぷり 2 日間リハに触れることができて楽しかった．実際にリハ科医が手技（ブロック）を行っているところを見ることができ，家庭訪問にも参加できてよかった．通常のポリクリではやれないこと，見られないことも見られたのでとても良かった．
- 基本的なリハ科医学の考え方を学ぶことができたことと先端的なリハを体験できたことがとても良かったと思う．今の医学教育でほとんど聞くことのできない貴重な講義だった．

医師

- １日のセミナーでは足りないほどの濃い内容で，ポリクリなどでは聞けなかった話もあり，大変勉強になった．現在働いている病院ではなかなかリハに

ふれる機会がないので，忘れがちになっていましたが，困っている患者を助けるという考え方から医療を実践できればいいなと思った．

- 昨年に比して，装具や高齢者疑似体験などがなくなったのは残念だったが，多くのリハロボットに触れることができたのは嬉しかった．体験できる機会は非常に貴重だと思うので，ぜひ，今後も続けて頂きたい．
- 前回見ることができなかった内視鏡検査，運動学習について理解を深めることができた．リハを開始するにあたって運動学習が大切なのは知っていたが，よく分かっていなかった．バイオリンが弾けるようになる過程を実演していただいたおかげでよく理解できた．とても有意義なセミナーだった．
- 先生方のお話を沢山聞けて良かった．私は装具が好きなので Discussion をしながら患者さんの歩行訓練見学ができたのが嬉しかった．回復期に触れる機会は今までなかったので非常に良い機会を頂きありがたかった．
- 七栗サナトリウムはリハを集中して学ぶのにとても良い環境だと思った．
- 「体験できる」ということにより，イメージで分かりづらかったことが実際にやることでより良くわかりとても勉強になった．また自分でももっと知りたいと思うことが見つかりとてもよかったと思う．よりリハ科医になりたいと思った．
- 医局員が沢山で，さらに多彩な経験をされている先生ばかりでパワーのある医局だと感じた．リハロボットの開発，装具の開発など，今あるモノで満足するのではなく，どんどんトップを切って進んでいく姿勢が医局全体から感じられるのがすごいと思った．またぜひ見学，研修に来たい．